青葉が丘

平成２５年　４月８日
第１号
別海町立上西春別中学校
発行責任　校長　青坂信司

「成長の壁」を乗り越えるための支えになりたい

校長　青坂　信司

◆車で中標津から上西春別中学校に来る道。何度も通った直線道路です。この道を、今度は校長として着任するために、再び通りました。もう４月だというのにまだ残雪が多いのですが､道沿いの風景は、以前と変わらない牧場の広大さが広がっています。しかし、よく見ると微妙に変わっているところもあります。

◆懐かしさで一杯です。４月１日、こちらに着任する日、この地域の方からお電話を頂きました。その方の声を聞いて、とてもうれしく思うとともに、学校・地域のために頑張っていこうという気持ちが湧き起こりました。

◆春休み中、学校には部活の生徒たちが登校しています。廊下では陸上部、体育館では野球部や卓球部。そして音楽室を中心に吹奏楽部の生徒たちが練習に励んでいます。春休みは、目一杯、羽を伸ばし、遊びたい気持ちに襲われるものです。そんな中にあって、一生懸命に練習に励む生徒たちの表情や姿は、見ていてとても気持ちのいいものです。「こんにちは」と、こちらから挨拶すると、練習中にも関わらず「こんにちは」と返してくれます。

◆職員の半数近くが３年前と変わっています。生徒たちは、私が居た当時とは、すっかり入れ替わっています。懐かしさの中に新鮮な感覚を覚えます。前任の近藤校長先生や職員から、現在の学校や生徒たちの様子を聞きましたが、やはり出会ってみなければわからないことは多いのだと思います。それでも、昨年度の学校評議員の皆様や学校関係者評価委員の皆様、そして保護者の皆様から頂いたご意見等を参考にしながら、以下３点のことに焦点化して、学校経営にあたりたいと考えています。

１　生徒の学力に責任を持つ学校でありたい。
２　地域とともにある学校でありたい。
３　当たり前のことを当たり前にできる学校でありたい。

※この３点に絞り込んだ詳しい理由については、おいおい皆様にお伝えしていきたいと考えています。

◆中学生期。それは身も心も急速に成長する時期です。体の成長と心の成長が、時としてアンバランスになり、悩み、苦しみ、葛藤し、心が揺れ動きだすときです。こういう時期に、周りの大人たちがどのように接するのか、またどのように支えてあげるのかによって、成長の仕方が違ってくるのだと思います。誰もが通る「成長の壁」。それを乗り越えていけるかどうか。その支えに職員一同であたりたいと思います。今年度、昨年度同様よろしくお願いいたします。

1年間よろしくお願いします！

◆今年度の指導体制は下記のとおりです。

役・所属	氏　　名	教科指導等	部活動
校　　長	青坂　信司		
教　　頭	藤野十志幸		
１Ａ担任	久保杉伸一	理科	バレー
１Ａ副担	小森　和則	保健体育	野　球
１Ａ副担	新屋　典正	英語(TT)、技術	卓　球
２Ａ担任	金子　雅美	英語(TT)	吹奏楽
２Ａ副担	子坂　岳史	音楽、数学ＴＴ、美術	吹奏楽
２Ａ付き	松岡　義智	個別指導	野　球
３Ａ担任	吉田　昌弘	社会	陸　上
３Ａ副担	佐藤　峰幸	数学(TT)	陸　上
３Ａ副担	田茂井エリ	国語、家庭	卓　球
養護教諭	鎌田　浩子		バレー
事務職員	橋本　　渉		
公 務 補	小山内裕一		
ｶｳﾝｾﾗｰ	今井　一夫		

＊数学と英語はＴＴ指導または課題等で分ける習熟度学習を行います。